

西の丸一善の会

県北2カ所で除草作業

地域貢献活動の一環

西の丸グループ(本社・門川町)の従業員で組織するボランティア団体・西の丸一善の会(西谷栄一会長)は9、10日の2日間、延岡市の多々良檜山

通線と日向市のお倉ヶ浜の2カ所で除草作業に取り組んだ。日本遊技関連事業協会九州支部の九州クリーンデー活動の一環。



世界ジュニアサーフィン選手権を前に、会場のお倉ヶ浜を除草する西の丸一善の会の皆さん

2日間とも出勤前の早朝に1、2時間実施し、同グループの各店から延べ148人が参加した。多々良檜山町通線では、歩道の花壇に生い茂っていた雑草を手作業で除

草。行き交う地域の人たちから「苦労さまです」「ありがとございます」と声を掛けられる場面もあったという。

23日から開催の世界ジュニアサーフィン選手権を控えるお倉ヶ浜では、刈り払い機などを使って1ト半トラック4、5台分を除草した。同会の責任者を務める

松田和夫・西の丸業務課長は「地道な地域貢献活動ですが、地域や関係機関の皆さんから感謝の言葉をいただき、少しは役に立っているのかなと感じています。私たちの活動を知っていただき、さらに地域全体へと、この輪が広がっていくことを願っています」と話した。